

第4回オホーツク糖尿病教育研修会

メインテーマ: 指導困難例のケア

オホーツク糖尿病教育研究会では、4回目の研修会を北見で開催いたします。CDEJ 更新単位の取得を目指していますが、資格に関係なく糖尿病ケアに関心のある方は、どうぞ、ふるってご参加ください。

日 時 : 平成 25 年 8 月 3 日(土) 13:00~ 16:20
会 場 : 日本赤十字北海道看護大学 2 階 2-1 講義室(北見市曙町 664-1)
参加費 : 会員 無料、非会員 500 円(当日受付にてお支払いください)
申込方法 : 当日参加も可ですが、資料作成のため氏名・所属・職種を FAX でお送り下さい。(FAX 011-242-5066、問い合わせ TEL 011-242-5061 目黒)
修得単位 : 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための第 1 群<看護職> 2 単位、
第 1 群<栄養士> 1 単位、または第 2 群 1 単位のいずれかを選択(申請中)

I. プ ロ グ ラ ム

総合司会	北見赤十字病院 國分 里美	
開会のご挨拶	オホーツク糖尿病教育研究会 世話人 柴田 祐美子	13:00~13:05
1. 講演		13:05~14:05
座長	北見循環器クリニック 村松 一枝	
	「患者教育のための理論③—成人のための学習理論:アンドラゴジーAndragogy」	
	日本赤十字北海道看護大学 学長・教授 河口 てる子 先生	
2. 講演		14:05~15:05
座長	北見赤十字病院 井田 亜希子	
	「患者指導困難事例へのケア」	
	砂川市立病院 糖尿病看護認定看護師 加藤聰枝 先生	
<休憩>	15:05~15:15	
3. 演題・事例発表		15:15~16:15
座長	北見循環器クリニック 尾村 あずさ / 北見赤十字病院 天野 由香	
	「糖尿病透析予防療養指導の振り返り~困難と感じた点~」	
	北見赤十字病院内科外来 看護師・日本糖尿病療養指導士 北村 綾 先生	
	「学習障害を伴う糖尿病患者さんへの栄養指導」	
	オホーツク海病院栄養課 管理栄養士 橋本 千枝 先生	
	「臨床を通して見えるアドヒアランス向上の要因 ~理学療法士の視点から~」	
	北見赤十字病院リハビリテーション科部 理学療法士 庄司 寛 先生	
閉会のご挨拶	オホーツク糖尿病教育研究会 代表 河口 てる子	16:15~16:20
総会	司会 河口 てる子	16:20~16:40
	平成 24 年度決算報告	
	平成 25 年度事業案・予算案報告、平成 26 年度事業案	
主催:	オホーツク糖尿病教育研究会	
共催:	日本糖尿病教育・看護学会, 日本イーライリリー株式会社	